

文化センター出口の渋滞は

町 試験的に左折のみ一方通行

問 公共施設の環境整備として、文化センターのイベント開催時に、駐車場から県道211号線までの渋滞緩和対策とし、左折表示のラインを加え、迂回路案内など改善する考えは。

生涯学習課長 イベント開催時、利用者が多く見込まれる町の自主事業の際には、

迂回マップを配布し、りんどうラインへ迂回する案内をしている。

今後渋滞が予想される場合、迂回路マップや、交通誘導の館内アナウンスを行う。本年7月のイベントを、文化センター・ゆめプラザ那須・スポーツセンター全ての駐車場から出口を左折

のみとし、試験的に一方通行を行う。

問 文化センター出口で左折する際、縁石が障害になるが、どのように対応するのか。

生涯学習課長 少し急ハンドルになるが、試験的に一台ずつ大回りに通すことで、渋滞緩和をさせる。

閉校による学校の備品は

町 リサイクルを検討

問 物を大切にする観点から閉校による学校備品の利活用は。

学校教育課長 閉校になった学校備品は、拠点校の児童増やPTA等の関連組織、

役員増による必要な備品運搬は終了した。

その他の備品は、閉校となった学校に保存してある。

問 理科室・図書室など特別教室には同じ教材備品が存在するが、今後どうするのか。

学校教育課長 現在そのままになっているが、公共施設を中心に利活用を考えている。

問 学校備品に多額の予算を計上し廃棄するより

も、販売する事で、その売り上げがこどもたちの教材やスポーツの活動費になる。学校備品を行政と民間、地域で地域活性化につながるリサイクルイベントなどの考えは。

総務課長 来年、適正配置により小中学校が移動になる事から、今後、地域祭りや九尾祭りなどにリサイクルとして検討したい。



これで、渋滞緩和に